

## 水道の決算について

## 目次

	頁
1 決算.....	1
(1) 決算とは.....	1
(2) 令和3年度の決算について.....	1
Q 収益的収支・資本的収支とは？.....	1
2 家計簿にたとえると.....	2
(1) ～収入ってどんなものがあるの？～.....	2
Q 補てん財源とは？.....	2
(2) ～お金の使いみちはどんなものなの？～.....	4
Q 減価償却費とは？.....	6
Q 長期前受金戻入とは？.....	6
3 借金がいくら残っているの？.....	7
(1) 企業債の残高.....	7
(2) 市民1人あたりの借金はいくらなの？.....	7
4 給水するためにどれくらいかかるの？.....	8
5 他の都市と比べて.....	9



徳島市イメージアップ  
キャラクター「トクシィ」

令和4年11月

徳島市上下水道局

# 1 決算

## (1) 決算とは



決算とは、会計年度期間中（4月1日～3月31日）の経営成績を明らかにするもので、1年間に入ってきたお金（収入）と、使ったお金（支出）をまとめて、報告するものです。

## (2) 令和3年度の決算について

令和3年度の水道事業会計決算は、水道水を供給するために必要なお金（収益的収支）を見ると、約48億7千万円（税抜）の収益に対して、約42億6千万円（税抜）の費用がかかり、約6億1千万円の純利益がありました。



一方、水道施設を建設・改良するために必要なお金（資本的収支）を見ると、約31億6千万円（税込）の支出があって、約9億8千万円（税込）の収入があり、約21億8千万円の財源不足については、貯金を取り崩してやりくりをしています。

### Q 収益的収支・資本的収支とは？

「企業会計」では、予算の構成上、「収益的収支」「資本的収支」の二本立てになっています。分かりやすく砕いた表現方法で言いますと、収益的収支とは「現在のために使うお金」日々の営業活動に必要な経費となり、資本的収支は、「将来のために使うお金」水道管の布設や施設の改良などになります。

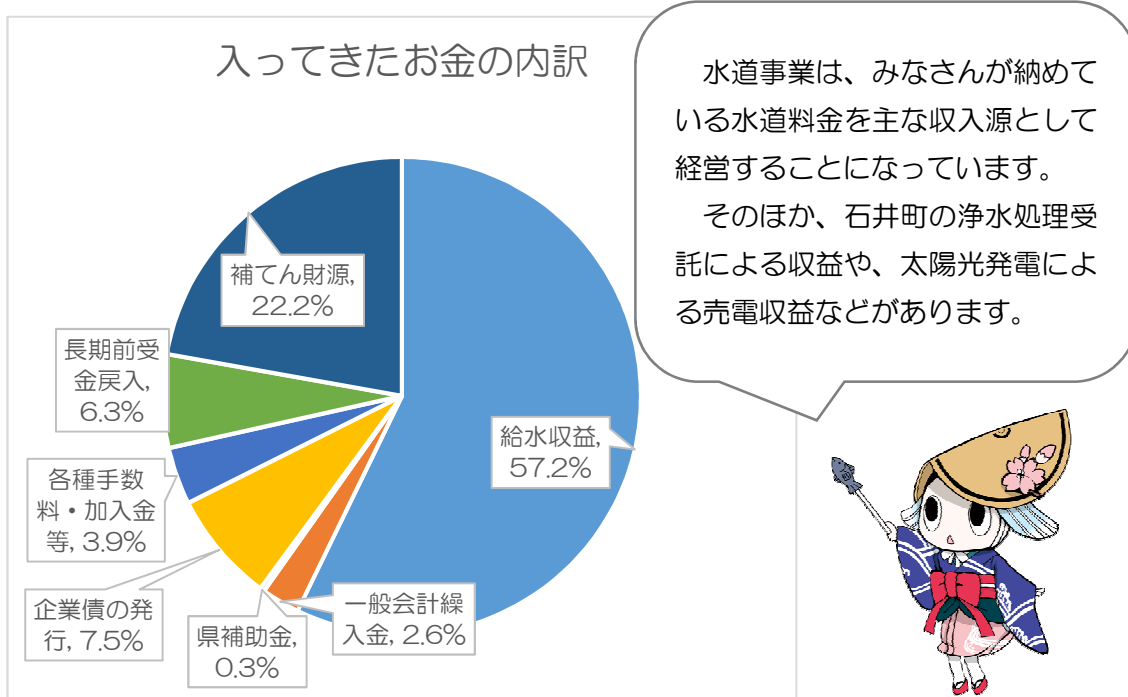
## 2 家計簿にたとえると

### (1) ～収入ってどんなものがあるの?～

令和3年度の水道事業会計のうち、まずは入ってきた収益的収入と資本的収入を一つにして見てみましょう。

(単位：千円 税込、%)

内 容	金 額	割 合
■給水収益（水道料金・メーター使用料）	4,428,413	57.2
■一般会計繰入金	201,771	2.6
■県補助金	21,890	0.3
■企業債の発行	578,100	7.5
■各種手数料・加入金等	301,720	3.9
■長期前受金戻入 ※詳しい説明は6ページ	491,356	6.3
■補てん財源	1,719,627	22.2
合計	7,742,877	100.0



#### Q 補てん財源とは？

「資本的収入」が「資本的支出」に対し、不足する額を補てんする財源のことを言います。

この財源は、「減価償却費」や「資産減耗費」と呼ばれる「現金の支出を伴わない費用」（会計上の支出としているだけで実際には現金の支出はありません。）などによって企業内部に残る資金（内部留保資金）などです。

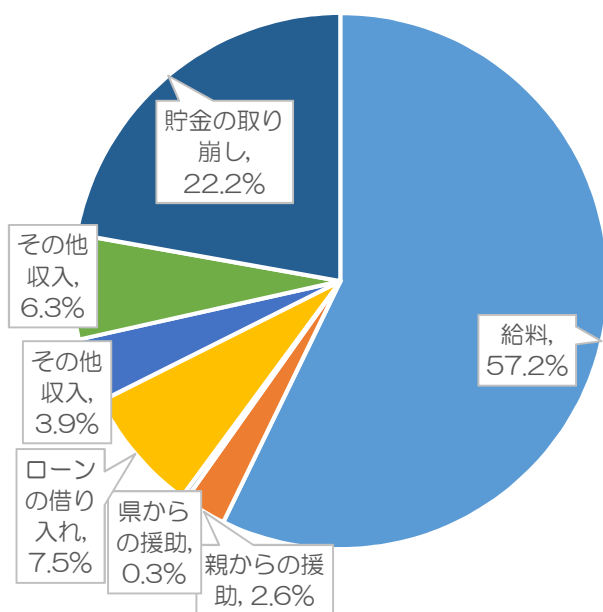


難しい言葉がたくさんあってイメージができないので、前のページで見た1年間で入ってきたお金を、1年間の家計簿（各金額を10,000分の1に縮小）に置きかえてみました。

（単位：円 税込、％）

内 容		金 額	割 合
■ 給料	（給水収益）	442,841	57.2
■ 親からの援助	（一般会計繰入金）	20,177	2.6
■ 県からの援助	（県補助金）	2,189	0.3
■ ローン の 借 り 入 れ	（企業債の発行）	57,810	7.5
■ その他収入	（各種手数料・加入金等）	30,172	3.9
	（長期前受金戻入）	49,136	6.3
■ 貯金の取り崩し	（補てん財源）	171,963	22.2
合計		774,288	100.0

### 入ってきたお金の内訳



本来、使うお金は給料でやりくりするのが理想ですが、ローンの借り入れや貯金の取り崩しに頼っています。

これは、水道管を布設したり、施設を作ったりするのにたくさんのお金を出して先行投資をする必要があるからです。

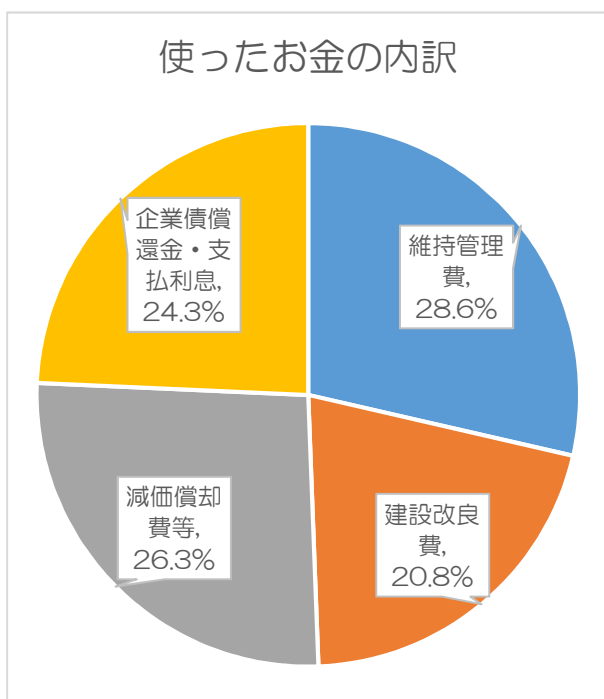


(2) ～お金の使いみちはどんなものなの？～

入ってくるお金（収入）の内容を見たところで、次は使ったお金（支出）の内容を見てみましょう。

（単位：千円 税込、％）

内 容	金 額	割 合
■維持管理費	2,213,398	28.6
■建設改良費	1,613,744	20.8
■減価償却費等 ※詳しい説明は6ページ	2,034,246	26.3
■企業償還金・支払利息	1,881,489	24.3
合計	7,742,877	100.0



「建設改良費」「減価償却費」「企業償還金・支払利息」で支出全体の約 70%を占めています。これらは全部、水道施設などのハード面にかかる費用です。

このように支出の内容だけでも、水道事業にはたくさんの建設費用がかかることがわかります。



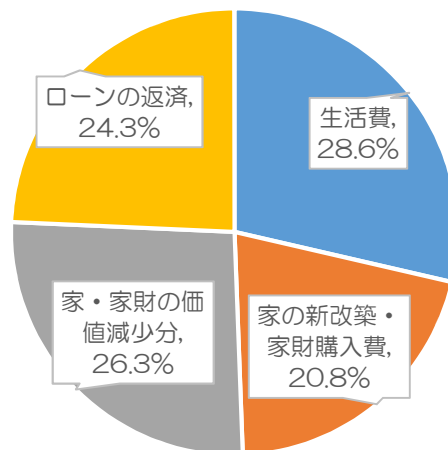


難しい言葉がたくさんあってイメージができないので、先ほどのページで見た1年間で使ったお金を、家計簿（各金額を10,000分の1に縮小）に置きかえてみました。

（単位：円 税込、%）

内 容	金 額	割 合
■生活費（維持管理費）	221,340	28.6
■家の新改築・家財購入費（建設改良費）	161,374	20.8
■家・家財の価値減少分（減価償却費）	204,425	26.3
■ローンの返済（企業償還金・支払利息）	188,149	24.3
合計	774,288	100.0

### 使ったお金の内訳



ローンの返済が、使ったお金のおよそ4分の1を占めています。

これは、水道施設を作ったりしたときに借りたお金を毎年返しているものです。こういった施設を作るのには、たくさんのお金が必要になりますが、一度作ってしまえば数十年にわたって使うことができます。

しかし、その工事にかかった費用を、作った当時の人たちだけで負担するのは不公平になるため、完成した施設を使う人たちも、平等に費用を負担しなければなりません。

そこで、作るときにお金を借りて、何年もかけて返済することで、不公平がないようにしています。

Q 減価償却費とは？

減価償却費とは、時間が経つことによる建物や配水管、車両などの「資産」の価値が減少した分に相当する金額を、費用として計上するものです。

120万円で買った自動車を5年後に売っても120万円では売れません。

こういった「資産」の現在の価値を正確に把握しておくためにも、価値の減った分を費用として計上することが必要となるのです。これを「減価償却費」と呼びます。

例えば、120万円で買った自動車が法定耐用年数4年であった場合、毎年30万円ずつ使ったこととして会計上の支出とします。1年間の減価償却費は30万円になるというわけです。

減価償却費は会計上の支出としているだけで実際に現金が出ていくわけではないため、その分、現金が貯まることになります。

4年で120万円貯まった現金は、次の買い替えの資金となります。

Q 長期前受金戻入とは？

長期前受金戻入とは、減価償却費に対応して発生する、現金の収入を伴わない帳簿上の収益です。

たとえば、120万円の自動車を購入したときに、国から40万円の補助金をもらったとします。

法定耐用年数が4年であった場合、毎年30万円ずつ減価償却費が発生しますが、毎年10万円ずつ、減価償却費とは逆に収益化します。(会計上の収入で、現金を伴わない収入となります。)

その結果、4年で購入費用と国からの補助金を差し引いた金額80万円が貯まることになります。



### 3 借金がいくら残っているの？

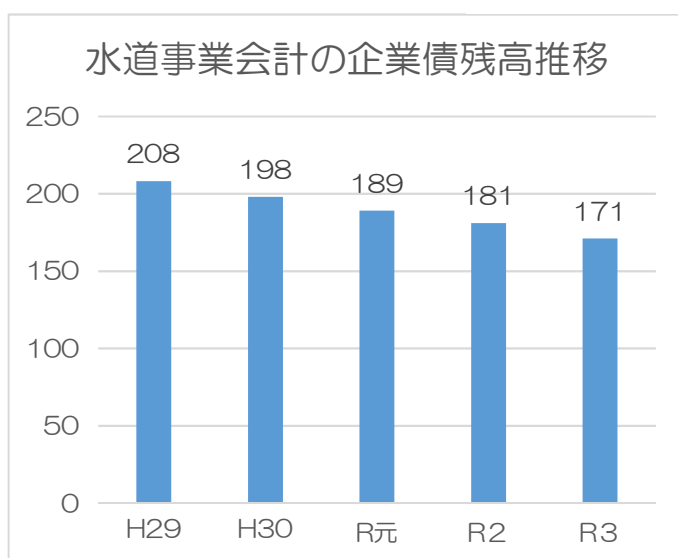
#### (1) 企業債の残高



先ほど「使ったお金」のところで、「企業債＝ローンの返済」について、紹介しました。借りた企業債は、毎年返済しているのですが、先ほど紹介した数字は1年間で返済した金額（元金・利息の合計）です。

ここでは、1年間で返済する額ではなく、各年度末での「企業債の残高」、つまり、「借金がいくら残っているか」を見ていきます（残高は元金のみの数値）。

（単位：億円）



借金の残高は年々減っています。

令和3年度では、水道施設を作るために約5億円借りましたが、約15億円の借金を返済したため、令和2年度末と比べると残高が約10億円減少しました。



#### (2) 市民1人あたりの借金はいくらなの？



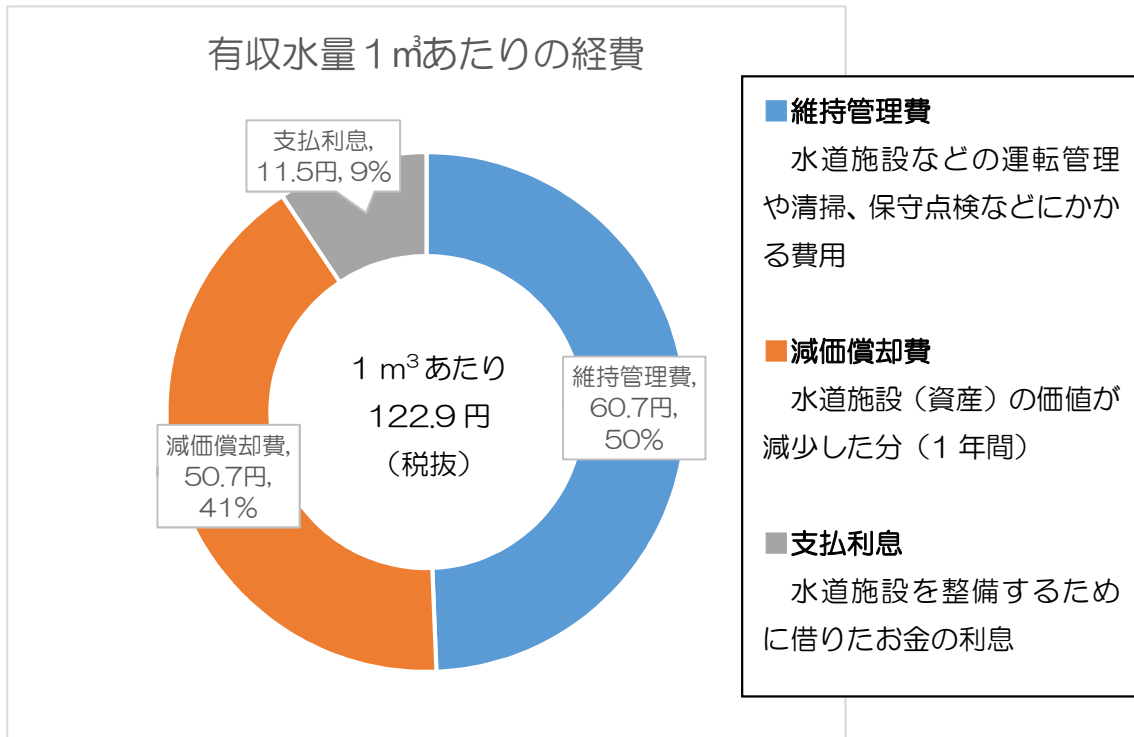
令和3年度末時点で、給水区域内の人口は249,516人で、企業債の残高は、約171億円のため、1人あたりの借金は約6万9千円になります。

ちなみに、令和2年度末時点での1人あたりの借金は約7万2千円だったため、1年間で約3千円減っています。

今後も施設の更新事業が中心となることから、借金は減っていく見込みです。



## 4 給水するためにどれくらいかかるの？



給水するためにかかる費用は、大きく分けて「維持管理費」「減価償却費」「支払利息」の3つが挙げられます。

このうち、日々の運転管理や保守点検にかかる費用である「維持管理費」は全体の50%だけで、残りの50%を占めているのは水道施設を建設したり改良したりするのに必要なお金です。

給水するために施設の建設・改良などのハード面にかかるお金がたくさん必要になります。



## 5 他の都市と比べて



ここでは、経営状況を把握するために用いる「経営指標」をご紹介します。徳島市の数値と、他の都市の平均値を比べてみましょう。

視点	項目	優位性	R2 年度	R3 年度	R3 類似 都市 平均	説明
収益性	料金回収率(%)	↑	112.7	112.4	105.0	給水にかかる費用を水道料金で、どの程度まかなえているかを示す比率
	経常収支比率(%)	↑	114.6	114.4	111.9	経常費用が経常収益で、どの程度まかなえているかを示す比率
	総収支比率(%)	↑	114.7	114.5	112.0	総費用が総収益で、どの程度まかなえているかを示す比率
安全性	自己資本構成比率(%)	↑	61.4	62.9	69.1	総資本に対する自己資本の占める割合を示す比率で、比率が高いほど経営が安定している
	流動比率(%)	↑	287.4	289.3	287.3	1年以内に現金化できる資産と負債とを比較する比率で、資金の流動性を示す
効率性	有収率(%)	↑	95.8	95.5	90.1	年間配水量に対する年間有収水量(水道料金徴収の対象となる水量)の割合

視点	項目	優位性	R2 年度	R3 年度	R3 類似 都市 平均	説明
生産性	職員1人あたり 営業収益 (千円/人)	↑	38,617	38,779	74,447	損益勘定職員（維持管理部門に従事する職員）1人あたりの営業収益を示す指標
	職員1人あたり 給水人口 (人/人)	↑	2,035	2,082	4,108	損益勘定職員（維持管理部門に従事する職員）1人あたりの給水人口を示す指標
コスト	供給単価 (円/ m <sup>3</sup> )	↓	138.8	138.2	170.1	有収水量（水道料金徴収の対象となる水量）1 m <sup>3</sup> あたりの給水収益の割合
	給水原価 (円/ m <sup>3</sup> )	↓	123.2	122.9	162.2	有収水量（水道料金徴収の対象となる水量）1 m <sup>3</sup> あたりの経常費用の割合

徳島市特有の状況を考えながらも、このように経営指標を使って他の都市と見比べることで問題点を見つけ、今後の経営に活かす必要があります。

